2026 年 11 月 16 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

株式会社レノバと「グリーンローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員　大澤 正和（おおさわ まさかず））は、株式会社レノバ（代表取締役社長CEO木南 陽介（きみなみ ようすけ）、以下「同社」）との間で、『株式会社レノバ　グリーンファイナンスフレームワーク』に則った再生可能エネルギー・蓄電池事業に係る事業資金を資金使途としたシンジケーション方式のグリーンローン契約（以下「本ローン」）を締結いたしました。

本ローンの資金使途は、『株式会社レノバ　グリーンファイナンスフレームワーク』に基づいて、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされたものです。『株式会社レノバ　グリーンファイナンスフレームワーク』は、国際資本市場協会（ICMA）が定める「グリーンボンド原則 2025」、LMA（Loan Market Association）、APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）及び LSTA（Loan Syndications and Trading Association）が定める「グリーンローン原則 2025」、並びに環境省が定める「グリーンボンドガイドライン 2026 年版」及び「グリーンローンガイドライン 2026 年版」において求められる項目について基準を満たしていると株式会社日本格付研究所（JCR）より評価され、「JCR グリーンファイナンス・フレームワーク評価」の最上位評価である「Green 1(F)」を取得しています。

同社は「グリーンかつ自立可能なエネルギー・システムを構築し、枢要な社会的課題を解決する」という「ミッション／経営理念」のもと、再生可能エネルギー発電事業の運営・開発に取り組んでおります。2025 年 5 月策定の「中期経営計画 2030」では、2030 年度までに設備容量 5.0GW、累積 GHG 削減量 2,000 万 t-CO_2を目標に国内中心に 3,400 億円の追加投資を計画しております。

【本ローンの概要】

契約締結日	2026 年 11 月 16 日
アレンジャー	株式会社三菱 UFJ 銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行
組成金額	103.4 億円
資金使途	再生可能エネルギー・蓄電池事業に係る事業資金

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG　Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以　上